



# 香葉

## 第16号

通算47号

関東学院女子短期大学

香葉会

発行人 山口佳子

代表 〒236-8503

横浜市金沢区

六浦東1-50-1

直通・FAX 045-787-0678

E-mail: kouyukai@nifty.com

URL http://koyokai.shonan.cc

### 関東学院女子短期大学卒業生のための「関東学院オリーブ編入学者選抜試験」が新設されました。

～入学免除で「学び直し」「再チャレンジ」を応援～

関東学院大学では女子短期大学時代に学んだ専門領域を深めたい、新しい知識を得たいといった卒業生を応援するため、関東学院オリーブ編入学試験を新設しました。人生100年の時代…活躍し続けるためのプラットフォームを是非ご活用ください。事前相談をお待ちしています。【詳細は次ページ参照】

※各企画の申し込みはFax・Eメール・往復ハガキでお願いします。

#### 石鹸カービング【講師 伊藤信江 (家28)】



今年度新企画です。専用の石鹸にナイフで美しく彫刻します。初心者対象。用具はこちらで準備します。定員15名

- 日時 11月17日(土)  
13時30分～15時30分
- 場所 香葉会室
- 持ち物 エプロン
- 参加費 2,500円 (材料費等)
- 締め切り 11月2日(金)

#### 散策【みなと濱めぐり】【ガイド あべき いさむ 精木 勇 (元短大講師)】



今回はみなと横浜の歴史的建造物を見学しながら、情緒あふれるみなとみらいを散策します。(雨天決行)

- 日時 12月1日(土) 10時30分
- 集合場所 みなとみらい線  
日本大通り駅改札前
- 解散予定 13時 赤レンガ倉庫
- 参加費 1,000円 (資料・保険代等)
- 締め切り 11月16日(金)

#### ビーズ講習会【講師 高石和枝 (国4)】

今回は春を先取りして花のブローチを作ります。定員10名

- 日時 12月15日(土)13時30分～15時30分
- 場所 香葉会室
- 持ち物 糸切り鉋、必要な方は眼鏡
- 参加費 3,000円 (材料費等)
- 締め切り 11月30日(金)



#### 第10回 香葉賞

去る3月24日(土)人間環境学部としては最後の卒業生が巣立ちました。本年も香葉賞を4学科それぞれ1名の卒業生に授与させていただきました。



#### 卒業生の冊子「香葉とともに」原稿募集中

香葉15号でもご案内したとおり、香葉会の集大成として冊子の編集を開始しています。名称は「香葉とともに」に決定しました。大勢の卒業生の皆さんにご協力いただきたく、衷心よりお願い申し上げます。2021年12月発行予定です。

テーマは自由です。★短大での思い出 ★短大で学んだことを活かして ★現在の仕事 ★今夢中になっていること ★恩師との思い出 ★今は亡き友人へ ★子育て記 などなど。詳細はホームページにも掲載しています。または直接お問い合わせください。尚、本年度の申し込み締め切りは2018年12月31日です。

#### 天城山荘ツアー 予告!

来年2019年11月16日(土)天城山荘ツアーを開催いたします。日帰りバスツアーです。天城山荘でランチをいただき、天城の紅葉を楽しみます。お友達とご一緒に、また学年の同窓会にもいかがですか?! 申込み予約(参加希望だけでも)受付中です。香葉会へご一報ください。詳細・及び正式申込み方法は来年発行の「香葉第17号」でお知らせします。お楽しみに!!

関東学院循環バス金沢八景駅発 土曜日 8時～16時 00 20 40 に出ています。

## 会長挨拶

山口 佳子(画1回)



皆様、こんにちは  
「香葉」をいつも  
お読みいただきあ  
りがとうございま  
す。

今、世界を牽引していかなければ  
ならない立場の人がアメリカカファ  
ー・スタを唱える。自らを自らの枠には  
め自分自身の基準が一番であること  
の利己性を疑わない。一方で他を守  
るために命を落とす人がいる。人の  
心が穏やかであること、人の心が繁  
がっていくことの大切さを思いま  
す。「香葉」表紙の企画をはじめ学校  
に携わる方々の温かいご協力があつ  
てこそこの香葉会活動があることを深  
く感じ、いつも感謝しております。  
一六号をそんな思いで届けたいと考  
えています。

大学は校舎もカリキュラムも二  
一六号掲載のルツ寮の集まりでの文  
章のように、学校での友との出会い  
が「宝物」で、あったり、二年間が密  
度の濃い学生時代、としてその後の  
人生を豊かにしてくださるための進  
化であるように願っています。

短大の歴史、温かく見守ってくだ  
さった先生方、職員の方々、すべて  
網羅した卒業生の冊子をつくりま  
す。どうぞ想いを書いてお送りくだ  
さい。編集は始まっております。

また、今回短大卒業生に向けての  
お知らせが二つあります。一つ目は  
関東学院オリープ編入学選抜試験の

お知らせです。再度学びたい方への  
朗報です。

もう一つは関内駅前に関東学院大  
学のキャンパスと市民が利用できる  
文化スポーツ施設が二〇二二年に  
オープンする予定です。横浜スタジ  
アム周辺のまちづくりと一体化され  
学術、文化における横浜の拠点にな  
ります。

来年、二〇一九年十一月一日天  
城山荘へのツアーを実施いたしま  
す。ご希望をお寄せください。

今年度も香葉会活動にどうぞご参  
加ください。お待ちしております。

## 大学学生寮を訪ねて

五月二十四日(木)に学生寮「ス  
チューデント・ハウス33番地」を訪  
ねました。RAと称する学生の小泉  
知由さんが、寮内の案内と説明をし  
てくださり、途中同じRAの塩澤夏  
実さんも加わってインタビューさせ  
ていただきました。

RAとはレジデント・アシスタン  
トと言い、新寮生が新たに寮生活を  
始めるにあたり必要な支援をする寮  
生のことです。寮生活全般のことも支  
援する学生のことです。現在は十人  
で構成しています。(女子九人・男  
子一人)

モダンな四階建ての建物で、八景  
キャンパスから五、六分のところに  
あります。一、二階は男子、三、四  
階は女子で、百六十人の学生が暮ら  
しています。ICチップ付きの鍵が  
各々に渡されており、この鍵がなけ

## 「オリープ編入学選抜試験」の詳細

## ●募集学部

国際文化学部(英語文化学科/比較文  
化学科)、社会学部(現代社会学科)、経  
済学部(経済学科)、経営学部(経営学  
科)、法学部(法学科/地域創生学科)、  
理工学部(全10コース)、建築・環境学部  
(建築・環境学科)、人間共生学部(コミュ  
ニケーション学科/共生デザイン学科)

## ●募集人数:若干名

## ●募集年次:3年次

●出願資格:下記のすべてに該当する者  
関東学院女子短期大学、関東学院大学  
(含大学院)を卒業した者 本学を専願  
とする者

## ●試験科目:小論文、面接

●選考の流れ:事前相談→出願(10/1~  
10/9必着)→試験10/24→合格発表  
11/1→入学手続(11/2~1/7)

★入学金(28万円)を免除します

## ●お問い合わせ

関東学院大学アドミッションズセンター  
Tel:045-786-7019

広々と  
した浴  
室、清  
潔なト  
イレ  
やメニ  
ー  
豊富な食  
事で充実



大浴場



学生寮 正面玄関

れば建物に入るのも、エレベーター  
に乗ることもできず徹底しており、  
万全なセキュリティでとても安心  
です。又寮生同士の触れ合いや協  
性を養うことも大切に行っていると感  
じました。



小泉さんと塩澤さん

しています。  
新入生歓迎会、野島でのパー  
キュー、ハロウィンパーティーや、  
地域との交流として「追浜まつり」  
に参加するなどの企画をしているそ  
うです。  
すてきな学寮でめぐり会った人達  
と、有意義な学生生活を送ってほ  
しいと思います。  
ご協力いただいた大学や学寮、職  
員の方々、そしてRAのお二人にお  
礼申し上げます。

### カウンセリングセンターからみた大学生のころ

カウンセリングセンター長 俵 秀雄

本学のカウンセリングセンターは一九八一年に開設しました。学生との個別面談を中心に行っています。最近では保護者の方からのご相談も増えていきます。カウンセラーは長年、非常勤か嘱託でしたが、二〇一三年から四名全員が専任職員となり、関係部署と連携しながら充実した学生支援体制を構築しています。相談件数も設立当時と比べると約八倍（年間延べ四、〇〇〇件弱）に増加しました。

学生のころの悩みとして最も多く寄せられるのは、「自分に自信が持てない」「コミュニケーションが苦手」「他人の目が気になる」など、「自分とは何か？」を模索する過程で生じやすい青年期特有の悩みです。この過程をうまく乗り越え、自己肯定感を得ることができると、卒業後の社会的自立、このころの安定に繋がります。



しかし、近年は指定校制推薦やAO入試等を含む現役合格者が圧倒的多数を占めていることから、大学



進学時に大きな挫折を経験せず、なんとなく周囲に流される形で進学した学生も少なからず見受けられます。そのため四年

生になっても自分のやりたいことが見つからず、就職活動や卒業論文の躓きを契機に初めてカウンセリングセンターを訪れる学生がここ数年増加しています。彼らは小さな挫折にも大きなダメージを受けやすく、一度躓くと気持ちの切り替えも苦手である傾向が見られます。

加えて、現代の若者はSNSで二四時間他者と繋がりを持てる環境にあります。就寝中以外は常にスマートフォンを手放せない学生も多くなりました。何時何処にいてもSNSで友人や家族と繋がっているため手軽に安心感が得られますが、その一方で一人になることが怖く、こころにゆとりが生まれにくくなっているようにも感じられます。

青年期の多感な時期に関東学院で過ごした経験が人生のプラスとなるよう、これからも学生一人ひとりと丁寧に向き合い、こころの成長を支援していきたいと考えています。

### 追浜チャペルのご紹介



教会のチャペルです。

整頓された玄関を入ると右手に礼拝堂があり、聖書の物語を題材にした美しいステンドグラス（教会員の方が制作、正面にはバプテストリ（洗礼槽）もあります。礼拝堂の後ろ側には気兼ねなく相談できるようにと、元は牧師室だった部屋をカウンセリングで使っていらつしゃるとのこと。二階には礼拝堂が見渡せる大きな窓を備えた集会室と広いキッチンがあり、エレベーターも完備されています。

牧師の高橋彰先生は追浜チャペルが出来た二〇一三年から奉職しておられ、毎週日曜日の夕方（十八時）に礼拝を守り「聖書に親しみ祈る会」を木曜日午前中に開催されています。

お隣が雷神社で、神社と並んでいて困ったことはないですか、と何うと快く受け入れてくださり、よいご近所づきあいをさせていただいています。感謝しています。」と笑顔で話されま



した。地域の方や前を通る人々に気軽に立ち寄ってもらいたいと、写真展なども開催しておられます。

立地の良さは言うまでもなく、学院関係者や卒業生も多数教会員として活躍中です。学生時代のように讃美歌を歌いたい、聖書を読みたい、そんな小さなきっかけでもいつでも受け入れてくださるチャペルです。



高橋 彰先生

### 卒業生の子・孫のための「オリーブ入学選抜」

関東学院大学はその建学の精神を伝え、守っていくことを大切なことと捉え、女子短期大学・大学・大学院の卒業生の子・孫にあたる人を対象とした入学選抜を実施しています。

卒業生だからこそ分かる関東学院での学生生活を、子供や孫に伝えていきませんか！出願期間は九月三日（月）から六日（木）必着、選抜方法は小論文と面接で、試験日は九月三十日（日）です。また入学金（二十八万円）が免除されます。詳細は関東学院大学アドミッションセンター（045-786-7019）までお問い合わせください。

## ルツ寮お別れ会

ルツ館が取り壊されることとなり、短大時代の建物がまた一つ消える…。これは寮生の皆さんが集まってもらった、お別れ会をしなくては！と、二年前から構想を練り、オープンキャンパスが行われる日程に合わせて「ルツ寮お別れ会」を学校探検ツアーと一緒に開催いたしました。

お別れ会の参加者は四十名に達し、ご招待の学校関係者を合わせて五十名ほど。午前の企画「学校探検ツアー」と学食でランチの後、ルツ寮お別れ会をエテルニテ四階の食堂で開催しました。

お別れ会は増田理事長からご挨拶いただき、谷内寮母さん、志賀先生、矢嶋先生、牧野先生、寮栄養士の小野寺さんから懐かしいお話を伺いました。

参加者の卒業生からは当時の寮生活の様子をお聞きでき、門限・当番・愛情たっぷりのお食事など。年齢は違えども共通の話題で盛り上がりました。



また、卒業してからも「人になれ奉仕せよ」をいつも心に生活しておられ、とても誇らしい気持ちになりました。勉強と生活が近くにある、キリスト教の教えも身近にあったかと思



茶和会で談笑中

いました。残念ながら田中寮母さんはご欠席でしたが、ビデオレターを後日郵送いたしました。また、当日ご参加がかわな

小玉先生、加藤先生、帆苺先生、水沼先生、寮栄養士斗ヶ澤さんからもメッセージをいただきました。

それぞれの学年でお声を掛けてくださった皆さん、本当にありがとうございました。皆さんに支えられた一日でした。

### 永遠の友人と出会えたルツ寮

小野澤 日出子(英32回)

茨城県「水郷の街」として知られる潮来町で生まれ育った私。ルツ寮には全国から同期が集い、様々な思い出深い貴重な時を過ごしました。

入寮当日、十八歳まで暮らした街を後に、母と向かった金沢八景駅。品川駅から京浜急行で快速特急に乗車する際、特急券購入は何処ですればいいのか？迷いました。実家の方では私鉄はなく、『えっ？不要なのね？』入寮一日目は、田舎の暮らしとのギャップから始まりました。寮に着くと、隣の部屋と同じ県出身の方がいると知り嬉しく安心感を覚えました。えっちゃん

んです。部屋の整理整頓も終わり、母との別れは、それはそれは、寂しいもので、涙が止まりませんでした。不安、不安、不安ばかり。大丈夫だろうか？不安と心配で一杯でした。さあ寮生活のスタートです。同室の方は、長野県出身のキーちゃんです。アネゴ肌のリーダシップがあり頼りになる人。ちよびり朝が苦手な朝(ほんをキャンセルしてしまいます。そんな時は、パンに溢れんばかりのジャムを挟み部屋に持ち帰りました。キーちゃんの好物です。二年目は、二部屋が二年生同士の部屋。私は、キーちゃんと離れるのが寂しく、同室になる事をお願いしてしまっ程でした。英文科の同期は、ひとみちゃん。青森県出身の可愛らしい方。縁あり四年生の方と一緒に楽しい時間を過ごしました。鎌倉の紫陽花寺に早朝(七時)行く事になり、雨の日、傘をさしながらの訪問。雨に濡れた紫陽花のしっとりした美しさに心打たれ『早起きは三文の得』を実感できました。



サークル活動では、栃木県出身のモッコと美術部に入りました。バイクに乗り活発で行動範囲が広い人。夏、長野県安曇野で合宿がありました。脱サラした方のペンションブームでした。先輩は何て素敵な合宿を計画してくださるのかと驚きはかり。夕食は、フレンチのコース料理。美術部員お揃いのトレーナーも作りました。おしゃれな合宿は楽しい時間でした。えっちゃんは、テニス部に入り活動していました。物静か

ですが芯のある人。就職は一番最後に決まりましたが、希望を最後まで貫いていました。卒業後、二人で国内旅行を楽しみ、または、私の母、母の友人達と意外なメンバーでの海外旅行を通して仲良く活動しています。今は、ゴルフを楽しみビールが友達のようなです。この四人と、夕食後「お茶会しよう…」と、毎晩毎晩、三六五日話していました。ある日は、恋愛の話、経歴談。次の日は、友人との悩み相談。また、試験日前日の試験対策について。就職活動の事。人生全ての事を話していたように思います。今考えても、よくこんなに話す事があったものです。話しても話しても時間が足らず、隣り部屋の寮母さんから、『何時だと思ってるの？いい加減にしなさい。』と、ドアを叩かれる始末。本当にたくさん話しをしました。小さな世界から友人達の話を通して知らない世界を知った二年間でした。

寝食共にしたルツ寮。ここで出会ったこの四人は、私の宝物です。三七年経った今でも繋がりを持っています。この宝物を大切にこれからの人生を豊かに過ごしていきたいと思っています。

### 青春時代のルツ寮

和地 隆子(幼8回)

幼児教育科を卒業し三十六年、短大を訪れることはありませんでしたが、香葉が届くののいとも楽しみに拝読させて頂いています。

十月一日快晴の秋空の日に、京浜急行に揺られ金沢八景駅に降り立ち、ル

ツ寮お別れの会に向かいました。平潟湾の懐かしい海の香りや街並みは変わりましたが、見馴れた風景を横目に室の木キャンパスに急ぐのです。元短大の正門をくぐると懐かしい先輩の集まりを発見！卒業以来、第一ルツ寮で二緒だつた五人の先輩方に出会い感激で涙しました。青春の懐かしいページが鮮やかに甦りました。中々起きられなかった朝食、コツを教えてもらった試験勉強、みんなでテレビを観たり語り合った談話室、大浴場（第二ルツ寮は家庭風呂）、たくさんのご馳走の会食、お掃除等々懐かしい話しは尽きませんでした。

エテルニテの茶話会では、それぞれの時代のルツ寮の思い出話しに花が咲き、大先輩から平成生まれの若い世代まで、寮母さんとのエピソードも話されていました。第二ルツ寮初代寮長だった私は、田中寮母さんとはより良い寮生活が送れるようにと、寮母さんの部屋のことに入り、バナナケーキと紅茶をご馳走になりながら良くお話ししたものでした。寮生活では栄養の行き届いた、温かいおいしい食事、ホームシックや不安になることもなく楽しい青春時代を送ることができました。これも素敵な友達ややさしくて厳しい先輩方、暖かいお母さんのような寮母さんとの出会いだったと感謝しています。

今私は保育園でゼロ歳児担任として楽しく忙しい毎日を送っています。我が三人の子育ても一段落し保育園で働く喜びを感じながら「人になれ 奉仕せよ」の精神はいつまでも心の中に忘れずにしみついています。毎日を明るく楽しく元気に過ごし、健康でいらればまた

このようなイベントに参加したいものです。素敵な企画をして下さったスタッフの皆様へ感謝の気持ちで一杯です。

### 学寮同期会（昭和四十八年三月卒）

角野（天河原）いつ子（英22回）

四十七年前、下関から金沢八景の小さな駅に降り立った時、「ここ、横浜？」とそのひなびたさに不安になったものでした。同室の先輩が迎えに来てくれ、寮母さんの温かい眼差しに迎えられる一、二年生二十五人ずつの五十人の寮生活が始まりました。

田舎から出て来て、ミッションスクールの学びと寮生活の日々は、珍しさと驚きで大変愉快なものでした。私は西からですが、東北なまりや食習慣の違う学生達が寝食を共にし、朝のお祈りに始まり、掃除洗濯、学校やお弁当、門限をやぶった時の寮会、合ハイ、寮祭、クリスマスディナー等、十八から二十歳の若者のにぎやかな日々は、ホームシックなど忘れて過ぎてゆきました。



昨年秋、寮が解体されるにあたってここ何十年間の先輩後輩が集まる会がありました。その際に、三月に大学職員を退職される船津（現福水）さんがある間にキャンパス内を案内してもらおう

と、今回の同期会を企画致しました。実は今回は十一年振りの同期会で、二十代の時には子連れで、寮母さん退職時に短大を見学、群馬の寮母さん宅、中華街、日本橋など、時折開催しておりました。

三月十日、室の木公園に集合し、寮の前で写真を撮り、その後短大のチャペルや大学を見学しました。大学の建物は想像を超えて立派なビル群となり輝いて見えました。

四十五年振りに熊本から出席の上村（現清水）さんと一緒に、最後はみんなで中華街まで繰り出し、久々の横浜を満喫しました。

残念な事に、この位の年齢になると、先輩二人、同期一人亡くなられていましたが、二十五人の内参加の九人は、介護や病気を乗り越えてさっそうと生きておられました。

久々の出会いに感謝し、我々の青春がここにあった事を確認いたしました。思い出は一瞬にして甦り、また大学の正門にある校訓「人になれ 奉仕せよ」の石碑を見て、改めてその言葉を心に刻んだ一日でした。

参加者【英文】松島（外山）明子、清水（上村）昭子、福水（船津）由美子、角野（天河原）いつ子、【家政】野口（山口）あけみ、鈴木（関）真利子、赤間（市川）啓子、小林（小林）宣子

### 女子寮同窓会

久永 節子（英16回）  
平井 道子（英16回）

短大卒業から約五十年、私たちは去



年古希を迎えました。昭和四十年四月（四十二年三月まで）二年間在学し、学年（英文科・家政科）約二十五名、女子寮で生活しました。女子寮での思い出は、女子寮祭クリスマス会などです。古いアルバムを開けると、相川学長下田先生安藤先生・白山ミチ先生と一緒に写っています。女子寮での一日は朝食時のお祈りで始まり、清掃後、学校へ通いました。昼食は、寮から運んでいたお弁当、ナンバーがふつてあり、確か「囚人弁当」と呼んでいました。夕食後はお風呂が沸いたという放送があると、順次入って、和室の娯楽室でテレビを観たり、自室で勉強。そして隣の部屋に行ってお喋りに花を咲かせたものでした。女子寮は門限が厳しく、門限十時に遅刻をする人がいると、全員起こされて、臨時寮会が開かれました。二回遅刻した人は退寮になります。パーティーのラストダンスは踊って来ることはできませんでした。日曜日は学校のチャペルで礼拝、木曜日には時々外人宣教師のお宅でバイブルクラスがありました。休みの日は野島公園を散歩したり、追浜への買い物も思い出です。平成十三年十一月、短大最後のホームカミングデーに十一名参加、チャペルで白山ミチ先生にお会いすることができ、寮を案内してくださりました。それからも寮卒業生は年賀状などで細々と交流を続けてまいりました。そして平成



そろ自分を大事にしようねと私たち自身から考えた。そして、今年六月、顔も声も昔のままの私たちは卒業して四十二年という時間

「二年前、私たちは「還暦同窓会」を開き、赤いものを身につけて集まりました。介護の話で盛り上がりながら、そ

「たった二年間だけだったのに・・・」

長島 京子 (英26回)

二十九年十一月十五日〜十七日、京都と有馬温泉にて二泊三日の旅を八名で楽しんでまいりました。お天気にも恵まれ、ちようと紅葉も見頃でした。久しぶりに会って、お喋り全開、昔のま

の流れに驚き、未婚の息子や娘の売り込みと相続の話に大笑いしました。「たった二年間しか一緒にいなかったのにね・・・」



「学校での学びが人生の礎」

阿部 富美 (家35回)



昭和六十一年三月に関東学院女子短期大学家政科食物栄養専攻栄養科学コースを卒業いたしました。その春に栄養士資格を得し、それから現在に至るまで食の仕事にずっと携わっております。

食品会社の料理教室部門のアシスタントとして経験を積んだことから、結婚を機に自宅料理教室を開校。学校や職場で学んだことを活かしながら仕事と家庭の両立を図って参りました。

また、地域の学校や公民館、企業様などから、食育や薬膳の講座講師を依頼されることが多く、今の世の中に必要とされていると実感いたします。

て、料理教室を中心に新規事業も展開していく計画です。大きくジャンプアップする際に、香葉会に於いて卒業生の皆様にご挨拶できる不思議な縁に感謝いたします。

振り返りますと、関東学院女子短期大学を卒業したその春からの経験の積み重ねが、今の自分そのものであると感じます。栄養学の講義を受けていた自分の姿、先生のお言葉の数々が今の仕事の礎です。時代が移り変わり、食生活も昭和の頃とは一変しました。しかし、「食べることは生きることそのもの、体作りの基本」という先生の教え、学校での学びは不変であるということも実感しています。

生まれも育ちも湘南茅ヶ崎。そして、活動地域は神奈川県内がほとんどです。地域に根付いた活動をするべく、JANAがわのつながりがブランド食材を広める活動や、神奈川県健康増進課主催の食育や未病改善のイベントで講演をさせて頂く機会もございます。そんな人生そのもののような、神奈川県をこれからも充実させ、関東学院の卒業生として自信をもって、社会に役立つ仕事をして参りたいと存じます。

前年度企画報告

学校探検ツアーとルツ寮お別れ会

木村 泰子 (英14回)

十月一日、久しぶりの秋晴れ。お友達に誘われ参加しました。

室の木キャンパス正門に集合後二組に分かれ八景キャンパスの見学開始。最初に三号館へ。オープンキャンパスの日と重なり学院を希望する学生と父兄



出発前に注意事項確認中

の方が見学し、プレゼンテーションに参加されて居りました。三号館は全学部の学生が利用できる総合的な新

校舎で、一階は食堂、レストラン、フリースペースがあり、二階からは教室、パソコン演習室、ゼミ室及び教員の研究室となつて居ります。三号館見学後はフォーサイトの最上階に昇り変貌した金沢の町を眺めた時は浦島太郎の気分でした。お天気に恵まれたので薄つすら房総半島が野鳥の先に見え、我々の久しぶりの訪問を歓迎しているようでした。その後一階の食堂で参加者全員で昼食タイム。中締め後は室の木エリアを散策しルツ寮へ。中に入るとはできませんでしたが外観のみの見学。寮生活をされた方々は学生時代を思い出しながら、ガラス越しに中を見入って居られました。

最後はエテルニテで、可愛い美味しいお菓子と飲物で茶話会が開かれました。ルツ寮で生活をされた方が多数参加されて居り、お話を聞いて貴重な学生生活——たった二年間、十八歳迄異なった状況で育った方々が、厳しい規則の下で苦楽を共にしたこと、素晴らしい絆が育まれたこと。又、校訓の「人になれ 奉仕せよ」の教えを、皆様が無心に心の中に大切にされて居られる

ことに感銘を受けました。目に見える校舎等は変わっても、皆さんが学院で育まれた精神は何時迄も変わらないことを感じた一日でした。

前年度企画報告  
**クリスマス小物づくり**  
矢守 光子(国31回)

まだ、クリスマスには早い十一月。新しくなった香葉会室に同窓生のみなさんの顔が見えました。今年はおかわいらしいバスケットの上に松ボックリや小物を刺していくものです。ワイヤーは、最初は扱い慣れなくて難しかったのですが、だんだん扱い慣れてきました。同窓生がみんな集まり、楽しいおしゃべりをしながら、思い思いの小物が出来上がっていきます。小物を盛り過ぎるとポリウムが出てしまうし、少ないと作品全体が寂しくなってしまうのです。今回、私は少しだけポリウムを出したら良い作品ができました。(周りの人の作品をみたら、とても素敵な作品ばかりでした。)クリスマスリースや小物のポイントは、リボンだと思います。赤のリボンは、全体的に華やかに、緑のリボンは作品全体を落ち着けます。



今回、昨年と違うのは香葉会室が以前のルツ館から今のエテルニテに移った事です。エテルニテは綺麗で、最初入った時は感激しました。玄関ドアを開けると、ま

ず階段があり、学生の方が座って勉強するスペースがあります。右に行くとな新しい香葉会室があります。これから、この様な楽しい企画が、新しい香葉会室で行われると思うととてもワクワクします。卒業生の皆様、これからまたクリスマス前に行われる楽しい企画に参加してみたいかがですか？

前年度企画報告  
**横浜山手西洋館散策**  
松野 トシ子(英5回)

昨年同様今年も散策の日は晴天でした。港の見える丘公園に集合し、イギリス館に続く花いっぱいのお庭を通りながら本館へと進む。イギリス館は旧英国領事公邸。昭和十二年建築。玄関に二対の双子柱。大英帝国の貴族の旧邸。一階のお部屋はミニコンサートが出来る程の広さがあります。時々歌、ピアノ、ジャズ等行われています。二階の各部屋にはそれぞれお部屋にマッチしたクリスマスの飾りがしてあります。とても素晴らしいものでした。



英15回山根ユミさん(右から3人目)がイギリス館をプロデュース

次に山手資料館へと進みます。明治四十二年建築。東西南北に配した屋根庇切破風の華麗なデザインは独自性の高いもので、当時の豊かさを思

わすような素敵な建物でした。次に横浜山手聖公会。昭和六年建築。英国国教会系。英国中世ノルマン風様式。私達は礼拝堂の中を見学させていたたく。

次に山手二三四番館。昭和二年頃建築。かつて外国人向けの集合住宅。ポーチの円柱はギリシャ風。四戸が対称に配置。日本の集合住宅のイメージを持つ私としては、山手にこの様な集合住宅があつたとは…。と思いながら、次はペーリック・ホール。昭和五年建築。長い年月風雪にさらされ痛み尽くしていたが、みにことに修復と、精木先生は説明して下さいました。中に入ると広々とした二階・三階も同じ広さ。クリスマスの飾りは自然を取り入れたものがほとんどで何かほっとした思いがありました。

最後にエリスマン邸。大正十五年建築。大木に囲まれた建築。中には階段にカフェがあり、ほっとする空間でもあります。おしゃれな品々とコーヒー等。二階はエリスマン邸独特なクリスマス飾りはしつとりとしたすばらしい飾りでした。なつかしい同窓生と二年に一度だけしかお会いしないのに、何故か良きお会いしている様な、たのしさと満足感を覚えながらお別れしました。(建物の説明は「横浜山手洋館24」精木勇画集より引用)

前年度企画報告  
**ビーズ講習会に参加して**  
高田 祥子(家34回)

年明けの二月二十日。金沢八景駅を降りるとそこには短



大生の時とは全く違う風景が広がっておりました。シーサイドラインは金沢八景駅とつなが

の工事中でした。四月に新装なった香葉会室は、居心地の良い暖かなお部屋でした。毎年楽しみにしている「香葉」で、ビーズ講習会の案内は数年前から気になつておりました。そして今回は子育でも一段落したこともあり、思い切つて参加することにいたしました。香葉会の山口佳子会長をはじめ、ビーズ講師の高石先生は多方面に御活躍中。

今回のビーズ講習会では「バッグ・チャーム」を作成しました。楕円形の布の上にいるような形の小さなキラキラしたビーズを、針と糸で布に縫い付けて行きます。針の穴に糸が入らなかつたり、細かい作業に眼が追い付かなかつたり、若い頃とは違う身体の変化に戸惑いながらも、作業に集中したあつという間の三時間でした。仕上げは自宅です。手作業の楽しさを存分に味わうことができました。

母校は学生時代の自分と向き合える大切な場所。諸先輩方と短大生の頃の話をしていると、いろいろな体験や思い出を聞かせてくださり、とても楽しい時間を過ごすことができました。

少し日が伸びた真冬の夕暮れ、ビーズの作品を仕上げる楽しみをお土産に帰路へとつきました。

計報

昨年十二月末に村上顕先生（元短大幼児教育科教授）、本年一月に徳永透先生（元短大英文科教授）が相次いでご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



故 徳永 透先生 故 村上 顕先生

大変残念で寂しいことですが、両先生の思い出を香葉会までお寄せください。次号の香葉に掲載させていただきます。

「関東学院女子短期大学記念奨学金」2017年度報告

関東学院女子短期大学にて利用されていた奨学金を原資とする、関東学院女子短期大学記念奨学金の2017年度の利用状況について、大学から報告をいただきました。

Table with 3 columns: 奨学金種別 (第1種, 第2種, 第3種, 合計), 人数, 金額

また、2016年度については8名に対して2,694,000円の給付を行ないましたが、利息等の他、短大奨学金の返還が続いているため、2016年度の収支は476,853円ほどの支出となりました。

2017年度も、女子短期大学の流れを汲む人間環境学部、人間共生学部、栄養学部及び教育学部の4学部合同で奨学金を運用させていただいていることを合わせてご報告いたします。

左記の学院行事は卒業生のご参加大歓迎です。詳細は香葉会までお電話又はメールでお問い合わせください。

- ◎学院創立記念式 十月六日(土) 八景キャンパス
◎学院クリスマス 十二月十四日(金) みなとみらいホール 入場無料

燦葉会支部総会のご案内

- 西湘小田原支部 9月22日(土)13時～小田原キャンパス
●湘南支部 10月27日(土)12時～藤沢商工会館
●県央のつどい 11月10日(土)18時～厚木アーバンホテル

編集後記

花々の開花が早く、春にはもう夏のような暑さになったりと、季節のめぐりが変化しているようです。今年もまた「香葉」の季節となりました。学院の様子や香葉会の活動の様子など、身近に感じていただければ幸いです。

関東学院女子短期大学 香葉会

Table with 3 columns: 収入の部, 支出の部, 合計. Rows include 年会費・賛助金, 特別基金, 雑収入, etc.

平成二十九年年度決算・平成三十年年度予算
平成十五年三月の卒業生の会費を最後に、香葉会の会計は皆様の年会費・賛助金をたよりに頑張っています。年間にかかる費用の多くは、機関紙『香葉』の発送にかかります。年会費・賛助金に是非、ご協力をお願い致します。

香葉会 年会費・賛助金 納入者名簿

皆様のご厚意により、平成29年度(平成29年4月1日～平成30年3月31日)のご寄付は60万円となりました。香葉会の運営費の一部として有効に使わせて頂きます。皆様のご協力に感謝します。今後ともよろしくお願い致します。(敬称略・順不同)

- 【教職員】 小島八重子, 馬越千恵子, 岡田宣子, 櫻山直子, 宮川直子, 小濱朝子, 加藤紀子, 小玉敏子, 長崎洋子, 帆刈宏子, 中根悦子, 渡谷亮子, 中根悦子, 古知屋幸江, 古高悦子, 大島智子, 古部綾子, 山本長生, 竹内恵美子, 奈田節男, 千田恵美子, 二見アイ子, 高橋静子, 柳生千代子
【英文】 伊藤陽子, 中村紀子, 志賀洋子, 溝口ミチ, 吉田由美, 花岡康子, 内藤明子, 勝野裕子, 鈴木信子, 松本靖子, 高橋美子, 山本美子, 須山純子, 中内静子, 平野道子, 野尻道子, 丸山妙子, 川上あや, 中川勝子, 伊藤紀美子, 田中秀子, 黒田聡子, 山口恵美子, 高畑早苗, 山門幸恵, 岩辺陽子, 若本美和子, 星友子, 井上啓子, 原田玉枝, (匿名希望), 木立八千代, 近藤サエ子, 阿部聖子, 今井眞理子, 篠原誠子, 祖父江有加子
【匿名希望】 野村登喜子, 小野幸子, 吉川和子, 谷田部敦子, 相原陽子, 石渡朝子, 山下節子, 松野明子, 松井恵子, 後藤美和子, 境真由美子, 前出郁子, 木下美恵子, 五十嵐増枝, 藤平良子, 関令子, 山口恵美子, 金本孝子, 平沼由美子, 今泉マユ子, 太田三保子, 長尾朋子, 森福禎子, 高田祥子, 山崎久子, 小出美智代, 山平洋子, 熊倉敦子
【幼総】 益中昌子, 益中直子, 益中美香子, 益中麻里子, 益中由美子, 益中卓重子, 益中須美子, 益中浩美子, 益中真理子, 益中久美子, 益中春美子, 益中尋子, 益中綾子, 益中真岐子, 益中真由美子, 益中由佳子, 益中由直子, 益中正恵子, 益中直子, 益中洋子, 益中敦子